

Dappe

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし



3

2020



うっちゃれ、シティライフ。
楽しもう、ローカルライフ。

11年前に東京から鋸南町に移住した
出張女将料理 兼 山のパン屋 木村さん

地域おこし協力隊 🤔💡 こんなことを思っています。

清水

地域おこし協力隊の室井翼くんがデザイナーとレイアウトを担当しているこの「Dappe」ですが、発行してから1年が経過しました。「いつも読んでいるよ！」と声をかけていただける一方、「何が言いたいの冊子なのか、さっぱりわからない」と辛口のコメントをいただくこともあります。

そこで、今回は、私なりの「Dappe」に記事を書くときの考えを書いてみたいと思います。「Dappe」は地域おこし協力隊の活動を、住民のみなさまに報告する冊子です。なので、前月に行った活動を書くということがメインです。一方、私はときどき、新聞にも町報にも載らないようなネタを書くこともあります。全戸配布という冊子であればこそ、お伝えしたいことはほとんど紹介していきたくと思っています。町で起きていること、町にいる人の紹介などです。これからもご愛読、よろしくお願ひ申し上げます。



室井



最近、鋸南町の若い世代の方々（地元の人移住者も）と何か面白いことが出来なかなあと思うことがあります。その「何か」をみんなで考えるだけでも楽しいですし、一人だと時間がかかったり、行き詰まることもあります。仲間がいると可能性が広がるな、と。ちなみに自分はアウトドアと写真・映像系が好きなのでそういうものに興味がある仲間が欲しいです（笑）。

移住してから、神奈川の友人たちがたくさん遊びに来てくれてるので、そこも交わっていくと更に面白い気がしています。

もしこれを見てちょっとでも興味を持っていたらインスタグラムとフェイスブックをやっているのでは是非こちらから連絡下さい 🙏



instagram



Facebook

Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊
住所 AKARI(地域おこし協力隊拠点)
〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田66-1
執筆 黒澤徹 清水多佳子 室井翼



地域おこし協力隊

こんなことをしています。

黒澤

「狩猟エコツアー」参加者のその後

今年は、台風の影響により一時は開催が危ぶまれた恒例の「狩猟エコツアー」ですが、規模は縮小するも、先日、最後のプログラムを無事終了し、今年度の募集は終えました。

詳しくは、町報にレポートがありまですので参照下さい。ご協力いただいた地域の皆さま、大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。

さてさて、今年で5年目の狩猟エコツアーですが、当初の目的に沿い、ご参加いただいた皆様のその後の鋸南町との関わりが続いています。最初に鋸南町を訪れるきっかけが「地美恵BBQ」イベントで、その後「狩猟エコツアー」の各プログラムにご参加いただいたお客様の何人かは、昨年開催した「クラウドハンター」千葉県鋸南町（横根地区・上佐久間地区）（センサーカメラを利用した都市住民による狩猟体験イベント。）で更なる狩猟体験を積むことを通じて地域の皆さまと交流を深めてきました。

9月の台風災害時も、イベントを通じて交流が生まれた集落へ直接、災害支援に関わっていただきました。大手メディアによる報道よりも早く、現地



に支援物資を携えてまだ道路も完全に復旧していない中、駆けつけていただいたことは驚きでした（Kさん、Nさん、Mさん、Yさん、Oさん他）。

猟期（11月15日～2月15日）に入り、狩猟エコツアーからクラウドハンターにご参加、その後横根地区へ捕獲の支援に度々訪れていた市川のMさんが、狩猟登録後の初猟と初捕獲を中佐久間の圃場近くの林縁部で果たしました。Mさんと共に農家さんから直接被害内容を聞き、加害獣の捕獲に成功しました。度々通った横根のベテランハンターから狩猟の技術を学び、最新のセンサーカメラの助けを借りて都市部で生活しながら見事に担い手の一人として役割を果たしました。

清水

情報発信をどのように伝えていくべきか？「SNS講座」で感じた一つの課題

2月13日、14日、中央公民館で開催された「SNS講座」でツイッターの使い方について講演させていただきました。昨年の台風直後、一部の住民がツイッターで情報発信することで、鋸南町の被災状況がいち早く全国に伝わったので、より多くの方にSNSの使い方を習得していただくため企画された講座でした。

受講者は全部で20人。とても熱心にお聞きいただきました。「アカウントって何?」とか、「フェイスブックの友達って、どうつながるの?」といった質問を受け、回答をすることで、自分自身の勉強にもなりました。

ただ今回、この講座を受け持った一つ思ったことがあります。それは、すべての人に「SNSを使った情報発信が大切」と言うことが適切であるのか?ということ

です。今回、ご参加いただいた方の中には、「らくらくフォン」のアプリがダウンロードできない機種をお持ちの方もいらっしゃいました。また、ツイッターに登録できて、使いこなせない、どうしても情報発信することが億劫になってしまうものです。最低限の情報発信の仕方を身に着けておくこと。まずは、そこから伝えることが重要なものかもしれない。そんなことを思いました。



例えば、災害時の情報発信では、「SMS」が役に立つといわれています。「SMS」とは相手の電話番号さえ分かれば文字で発信できる「ショートメール」です。ネットが使えない環境でも相手に届く上、通話ほど通話料がかからないので、災害時に強い情報発信ツールであるといわれています。もちろん、今回の「SNS講座」では、ツイッターの登録ができて喜んでご帰宅された方もいたので、成果はあったと感じています。地域コミュニティづくりと情報発信——。今後、さらに掘り下げて考えていきたいと思えます。

※SNSは、ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録した利用者同士が交流できるインターネット上のサービスのこと。

中佐久間で午後、くくりわなを一緒に設置し、何と2時間後にイノシシが

かかりました。Mさんは帰りの内房線の電車内で最初の捕獲動画を受信することになりました。逃げられないかとハラハラしながら一晩過ごしたそうで、翌日の早朝に現場に駆け付けてくれました。大変印象的な出来事でした。

昨年イベント参加後、鋸南町の獣害対策に関わりたというご希望を多くの方からいただき、中にはその後、狩猟免許を取得し、千葉県にて狩猟登録を済ませる方が続出しました。昨年まで「狩猟エコツアー」や「クラウドハンター」に参加いただいたメンバーは、今年も運営サイドのスタッフとして鋸南町を訪ねて来ています。地元狩猟グループの仲間入りをした若手ハンターもいます。



室井

移住案内の冊子を制作しています！「前略、鋸南より。」

現在、移住に興味がある人に向けての案内冊子を作っています。鋸南町とはどんなところなのか、どんな人がいるのかなどを、一年とちょっと撮り溜めた写真と一緒に載せています。「前略、鋸南より。」というタイトルにしたのは、鋸南からの手紙のように、手に取る人の心に届いて欲しいと思ったからです。

移住したことを話すと「その若さですごく決断だね」と言われることがあります。確かに自分でも「思い切ったなあ」と思う時もありましたが、普通のことのような気もしています。自然が好きだから、自然の多い場所に行く。住みたいからこそで仕事を探す。好きなことのために動くというのは、すごくわかりやすいし、それは自然なことだと思います。

もし移住にハードルを感じている人がいれば、それを下げてあげるのが自分の役割なのかもしれません。そんなことも冊子を通して伝えられたらと思っています。冊子を作るといのは初めての経験なので、色々調べながら試行錯誤しています。完成しましたら是非見て下さい！

前略、鋸南より。

